

プレス・リリース

ラッセル・インベストメント
野村証券株式会社

発信日： 2012年12月3日

『Russell/Nomura 日本株インデックス』年次銘柄入替

Russell/Nomura Total Market インデックスへの初めての組入れは 38 件に

ラッセル・インベストメントと野村証券はこの度、Russell/Nomura 日本株インデックス・シリーズの定期銘柄入替を行いました。今回の入替で、全上場銘柄の時価総額（浮動株調整済み）の98%をカバーする Russell/Nomura Total Market インデックスに、38銘柄が初めて組入れられました。構成銘柄の詳細は、野村証券金融工学研究センターのウェブサイト (<http://qr.nomura.co.jp/jp/index.html>) をご覧ください。

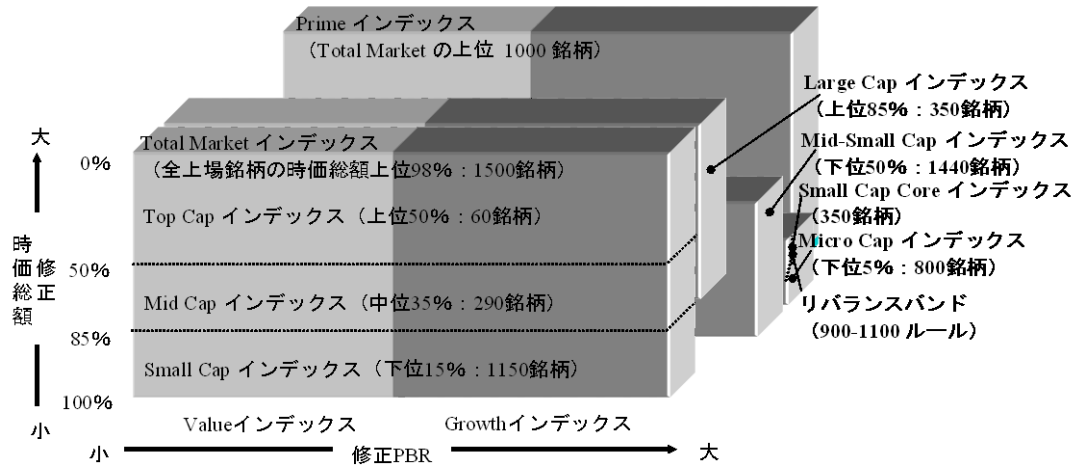
Small 銘柄の増加に伴い、指数全体の構成銘柄数が増加

今回の入替により、Russell/Nomura Total Market インデックスは全体で 113 銘柄増加し 1,500 銘柄となりました。37 銘柄が除外され、150 銘柄が組入れられる中で 38 銘柄が初めての組入れとなりました。一方、同インデックスの全体の時価総額は 166.8 兆円から 170.0 兆円とわずかに増加いたしました（2012年10月15日時点。時価総額は浮動株調整済み）。

サイズ別インデックスに目を向けますと、Russell/Nomura Total Market インデックスの時価総額の上位 85%で構成される Large Cap インデックスの構成銘柄は 2 銘柄増加し 350 銘柄となり、加えて Russell/Nomura Total Market インデックスの時価総額の下位 15%で構成される Small Cap インデックスの構成銘柄も 111 銘柄増加し 1,150 銘柄となりました（図表 1）。

バリュー、グロースインデックスにつきましては、Total Value インデックスの構成銘柄は 72 銘柄が除外となり 196 銘柄が組入れられ、Total Growth インデックスの構成銘柄は 139 銘柄が除外され、136 銘柄が組入れられました。Total Value インデックスと Total Growth インデックスの時価総額回転率はそれぞれ 13.1%、11.6%となり、平年を下回る数値となりました（図表 2）。業種別でも動きは小さく、「化学」セクターでバリューへの比重の増加、「輸送用機器」のセクターでグロースへの比重の増加が見られました（図表 3）。

図表1 Russell/Nomura 日本株インデックスの体系



(注) 2012年12月定期入替後。

図表2 2012年12月定期入替サマリー

	採用銘柄数					時価構成比率			回転率 片側
	入替前	入替後	差	OUT	IN	入替前	入替後	差	
Total	1,387	1,500	113	37	150	100.0%	100.0%	-	1.9%
Value	1,035	1,159	124	72	196	47.3%	48.5%	1.1%	13.1%
Growth	715	712	-3	139	136	52.7%	51.5%	-1.1%	11.6%
Large	348	350	2	24	26	86.2%	86.2%	0.1%	2.8%
Value	211	218	7	29	36	38.4%	38.9%	0.5%	13.5%
Growth	244	239	-5	41	36	47.8%	47.3%	-0.4%	11.8%
Small	1,039	1,150	111	61	172	13.8%	13.8%	-0.1%	11.7%
Value	824	941	117	68	185	8.9%	9.6%	0.6%	18.9%
Growth	471	473	2	127	129	4.9%	4.2%	-0.7%	34.9%
Prime	990	1,000	10	25	35	97.9%	97.7%	-0.2%	1.7%
Value	722	746	24	58	82	45.9%	46.8%	0.9%	12.9%
Growth	556	527	-29	106	77	52.1%	50.9%	-1.1%	11.5%

(注) 時価総額構成比率の計算は2012年10月15日の株価による。

回転率は「Σ | 入替前時価総額比率 - 入替後時価総額比率 | / 2」より算出。

図表3 Russell/Nomura スタイル指数の業種別時価総額ウエイトの増減

	Total Value	Total Growth	Large Value	Large Growth	Small Value	Small Growth
水産・農林業	0.0%	0.0%	—	—	0.2%	-0.2%
鉱業	0.4%	-0.1%	0.5%	-0.2%	0.0%	0.0%
建設業	-0.1%	0.0%	0.1%	0.0%	-1.0%	0.5%
食料品	-0.6%	0.5%	-0.8%	0.9%	0.1%	-3.8%
繊維製品	0.2%	-0.2%	0.2%	-0.2%	-0.1%	0.0%
パルプ・紙	0.1%	-0.1%	0.0%	-0.1%	0.7%	0.0%
化学	1.1%	-1.1%	1.3%	-1.3%	0.6%	1.2%
医薬品	0.0%	0.4%	0.1%	0.3%	-0.3%	0.3%
石油・石炭製品	-0.1%	0.0%	-0.2%	0.0%	0.4%	—
ゴム製品	-0.1%	0.0%	-0.1%	0.0%	0.0%	0.0%
ガラス・土石製品	0.4%	-0.4%	0.4%	-0.4%	0.6%	-0.5%
鉄鋼	0.3%	-0.4%	0.5%	-0.4%	-0.3%	0.0%
非鉄金属	-0.1%	0.0%	0.0%	0.0%	-0.1%	0.2%
金属製品	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
機械	0.5%	-0.3%	0.3%	-0.1%	1.5%	-1.5%
電気機器	0.8%	-0.9%	0.7%	-1.2%	1.2%	1.5%
輸送用機器	-2.4%	2.0%	-3.1%	2.4%	0.8%	-3.0%
精密機器	0.1%	0.0%	0.1%	-0.1%	0.0%	0.4%
その他製品	0.0%	0.0%	-0.1%	0.0%	0.1%	0.3%
電気・ガス業	-0.2%	0.1%	-0.2%	0.1%	-0.1%	0.1%
陸運業	-0.3%	0.3%	-0.5%	0.3%	0.2%	-0.4%
海運業	0.0%	0.0%	-0.1%	—	0.4%	0.0%
空運業	0.5%	0.2%	0.7%	0.3%	0.1%	-0.1%
倉庫・運輸関連業	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.1%	-0.2%
情報・通信業	0.6%	-0.6%	1.0%	-0.9%	-1.0%	3.2%
卸売業	-0.1%	-0.2%	0.1%	-0.3%	-0.7%	1.3%
小売業	0.3%	-0.3%	0.7%	-0.1%	-1.4%	-0.6%
銀行業	-0.6%	0.1%	-0.2%	0.2%	-1.5%	-1.4%
証券、商品先物取引業	-0.1%	0.0%	-0.1%	—	-0.1%	0.1%
保険業	-0.7%	0.6%	-0.9%	0.6%	—	0.3%
その他金融業	-0.2%	0.1%	-0.1%	0.0%	-0.3%	1.2%
不動産業	-0.3%	0.3%	-0.3%	0.4%	-0.3%	-0.6%
サービス業	0.3%	-0.1%	0.3%	-0.2%	0.3%	1.8%

(注) 2012年10月15日の株価による。赤色帯は Growth インデックスのウエイトが1%以上増加した業種、水色帯は Value インデックスのウエイトが1%以上増加した業種を表す。

Russell/Nomura Prime インデックスへの初めての組入れは23件に

Russell/Nomura Prime インデックスは機関投資家のパッシブ運用のベンチマークとして開発されたインデックスであり、Russell/Nomura 日本株インデックスの時価総額上位1,000銘柄で構成されるサブインデックスです。今回の定期入替で初めて上位1,000銘柄に採用された銘柄は23銘柄となり、同インデックスの時価総額は163兆円から166兆円へとわずかに増加しています(2012年10月15日時点。時価総額は浮動株調整済み)。同インデックスの時価総額回転率は1.7%と、昨年が続いて低い水準となりました。

新たに採用された23銘柄のセクターを見ると「小売業」が6銘柄、「サービス業」、「卸売業」が3銘柄とこれら3セクターで過半数を占めておりました。

Russell/Nomura 日本株インデックスについて

1995年、野村証券とラッセル・インベストメントは、資産運用の運用実績を測定するツールとして「Russell/Nomura 日本株インデックス」を共同開発しました。当インデックスは、浮動株修正時価総額を基準に日本の市場に上場されている普通株式で構成されています。浮動株修正時価総額上位 98%の銘柄で構成される Russell/Nomura Total Market インデックスを中心に、そのサブインデックスを含むシリーズとなっています。

当インデックスでは、株式市場の変化を反映させるため、年一回 12月第一営業日に構成銘柄の定期入替を実施しています。構成銘柄は、10月15日時点（休日の場合は直近営業日）の浮動株修正時価総額によって順位付けされます。

定期銘柄入替後、合併・買収やその他の事由によって当インデックスから銘柄が削除される場合においても、次回の定期銘柄入替まで補充されることはありません。従って、各インデックスへの組入れ銘柄数は、年中に変動します。臨時で追加が行われるのは、スピンオフおよび新規上場によって大幅に構成比が低下する場合にかぎります。

ラッセル・インベストメントについて

ラッセル・インベストメントは、年金、金融機関および個人投資家など様々な投資家の皆様を対象に総合的な資産運用ソリューションを提供しています。グローバルに行う運用機関調査をもとに、資産運用、オルタナティブ投資、確定拠出年金サービス、資産運用コンサルティング、売買執行管理、株式インデックスの開発など幅広く業務を行っており、現在当グループが提供するファンドの運用資産総額は約 12兆円※1となっています。

ラッセルは、1984年に Russell 1000®、Russell 2000®などをはじめとする米国株式インデックス・シリーズを開発しました。ラッセル米国株式インデックスは、投資可能な株式ユニバースを反映した初の浮動株修正済みインデックスで、現在米国機関投資家向けの運用商品の半分以上がラッセル米国株インデックスをベンチマークとしており、その資産総額は約 4兆米ドル※2に上ります。

ラッセルは、その後も様々な規模やスタイル別インデックスを開発し 2007年には世界の投資可能な株式市場の上位 98%をカバーしたラッセル・グローバル株インデックスを発表しました。

グループの創立は1936年。米国ワシントン州シアトルを本拠地とし、米国の大手生命保険相互会社であるノースウェスタン・ミューチュアル・ライフ・インシュアランス・カンパニーの子会社です。

日本においては 1986年に東京オフィスを開設。現在、ラッセル・インベストメント株式会社を通じて各種サービスを提供しています。詳しくは <http://www.russell.com/jp/globalindex.asp> をご覧ください。

(※1 2012年9月末現在、※2 2011年12月末現在 グループ合算)

お問い合わせ先:

ラッセル・インベストメント

【米国窓口】

Russell Investments
Public Relations
TEL: +1-206-505-1858
E-mail: newsroom@russell.com

【日本窓口】

ラッセル・インベストメント株式会社
マーケティング & コミュニケーション部
TEL: 03-5411-3790
Email: Tokyo-RIJ@russell.com

野村証券株式会社 金融工学研究センター
インデックス・プロダクツ・グループ

TEL: 03-6703-3986

E-mail: idx_mgr@frc.nomura.co.jp